

信用格付を付与するために用いる方法の概要（保険）

フィッチ・レーティングス（フィッチ）による保険会社の格付基準は、保険会社ならびにその発行債務および保険契約者に対する債務の格付にあたって、フィッチが考慮する格付要素を説明するものである。末尾記載の格付基準レポートは、フィッチによる保険会社格付に適用される一般的原則を示している。

同レポートで示されるガイドラインの範囲は意図的に広がっているが、これはフィッチの分析プロセスが動的であり、また、範囲を狭めた、または過度に厳格な手法では発行体ごとの独自の特性が捕捉しきれないためである。

保険会社の分析にフィッチが用いる主な要素は次のとおりである。

- 業界特性と事業環境
- 事業特性
- 所有形態
- コーポレート・ガバナンスと経営
- 資本基盤とレバレッジ
- 債務返済能力と財務の柔軟性
- 収益力
- 資産運用に関するリスク
- 資産負債総合管理と流動性リスク管理
- 支払備金積立の妥当性
- 再保険、リスク軽減方法及び大規模災害リスク

フィッチでは、これらの格付要素のそれぞれまたは各要素内における様々な構成項目について、予め「ウエイト付け」を施すことはない。それは、適切なウエイト付けが、個別の状況に応じて変わり得ると、フィッチでは考えているためである。一般的な指針として、一つの要素がその他に比し著しく弱い場合には、この最も弱い構成要素が分析上でより大きなウエイトを占める傾向がある。

個別の格付または格付アクションの各々において、この基準上の格付要素のすべてが必ずしも適用されない場合がある。個別の格付アクション・コメンタリーまたは格付レポートでは、個別の格付アクションに最も関連する要素について論じられる。

本格付方法の詳細については、「Insurance Rating Criteria」（2021年4月15日付格付基準レポート）をご覧ください。